

	Aリーグ	Bリーグ	補足（解説）
0 ルール決定の経緯や前提	<p>昨年のリーグ戦を終えて、Aリーグについては、特に問題はなく同様のルールを適用する。Bリーグについては、前回の申し送り事項等を考慮して以下のようなルールに決定された。順位の決定は、昨年同様とする。会議出席者は決定に至った経緯や変更内容をチーム関係者や保護者に理解をさせるため、十分な説明を行うこと。また、不都合が発生した場合は、同様にルールを変更する可能性がある。</p>		
1 試合時間と回数等	<p>(1)1時間20分を超えて、新たなイニングに入らない。</p> <p>(2)イニング終了（裏）まで行う。</p> <p>(3)サヨナラ(xバツ)ゲームを採用する。</p> <p>(4)最大7回とする。</p> <p>(5)イニング終了時点で勝敗が決まらない場合は引き分けで終了する。</p>	<p>(1)打者一巡（9人目の打者がプレーを完了した時点）で、交替（チェンジ）とする。</p> <p>(2)1時間（60分）を超えて、新たなイニングに入らない。</p> <p>(3)イニング終了（裏）まで行う。</p> <p>(4)サヨナラ(xバツ)ゲームを採用する。</p> <p>(5)イニング終了時点で勝敗が決まらない場合は引き分けで終了する。</p> <p>★裏が勝つ可能性がない場合（10点差以上）でも裏の攻撃を最後まで行う。</p>	<p>☆Aリーグ (1)会場の利用時間の制約を考慮した。試合会場に応じ、組み合わせを工夫する。 (2)成立した回に遡ると関係者に勝敗が分かり難い。また、無理にアウトにするなど対応しくない行為(考え)を抑制する。</p> <p>☆Bリーグ (1)昨年のように時間で終了した場合、前の回に遡って決着をつけるようなルールはやめたい。 (2)10点交替は長時間になるため、イニング消化や熱中症対策、ピッチャーの負担等考慮し、9人でチェンジとする。 (3)攻撃回数の公平性、会場の利用時間の制約や審判の配置を考慮し、2試合1セットで組むためにも、時間を短縮して裏まで行う。（9人でチェンジならば1時間+40分程度で試合終了となる見込み） (4)Bは教育リーグの側面も持っており、極力多くの打者に経験を積ませることを考慮。 (5)9人で交替したチームが、相手に得点の積み重ねにより敗北した場合でも、得点にて勝敗を決める。</p>
2 順位の決定	<p>(1)勝ち数；勝ち数が多いチームが上位</p> <p>(2)対戦カードの勝敗；勝ち数が同じ場合は、対戦カードの勝ちチームが上位</p> <p>(3)上記(1)(2)でも順位が定まらない場合は、リーグ長判断で順位を決定する。</p>	同左	リーグ長判断は、勝率、順位決定戦（再試合）、じゃんけん、メダルを同位チームに渡すなどを状況（日程、天候、予算）を鑑み判断することを意味する。
3 改訂日	2018年5月27日の試合より適用する。	2019年のリーグ戦より適用する。	
4 申し送り事項	<p>(1)新人戦出場校決定を兼ねたBリーグ戦は、連盟規定に則った方が良いのではないかと。来季議論する。（2018年5月20日の申し送り継続）</p> <p>(2)申し送りではないが、明らかにチーム力に差がある場合は、監督間で配慮を行い先攻後攻を決める。失点差を順位決めに採用されなくなった時点で、無理に先攻を取る必要を回避し、時間を有効に使うことを配慮する。（2018年5月20日の申し送り継続）</p> <p>(3)Bリーグは9人交替で、かつ裏の攻撃まで必ず行うルールを採用したが、実施した結果で不都合（試合時間の大幅な超過など）が発生した場合、新ルール（1時間15分で打ち切りとしその時点（表の攻撃中であっても）の得点で勝敗を決する）の導入を検討する。</p>		